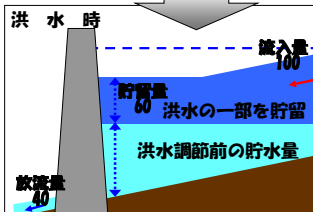
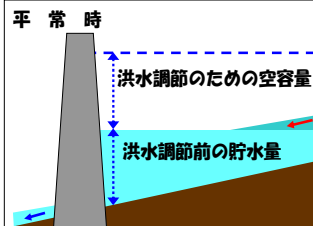


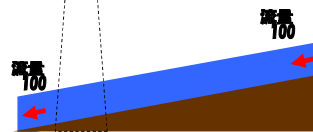
早口ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能（イメージ）



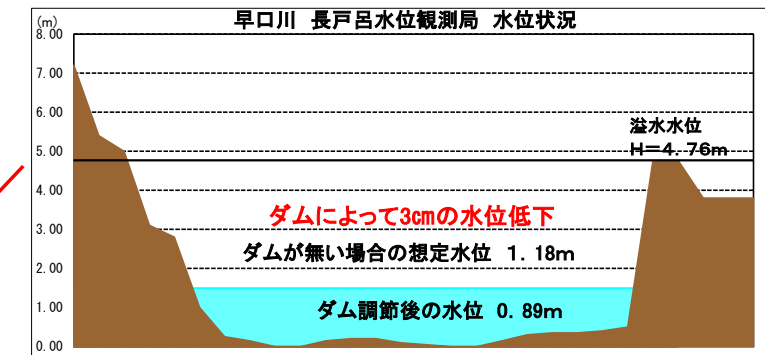
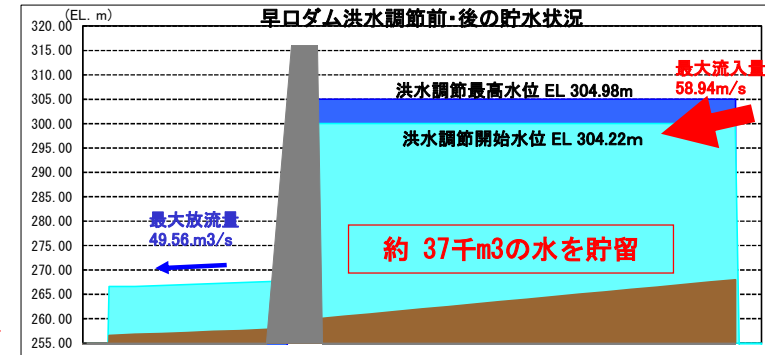
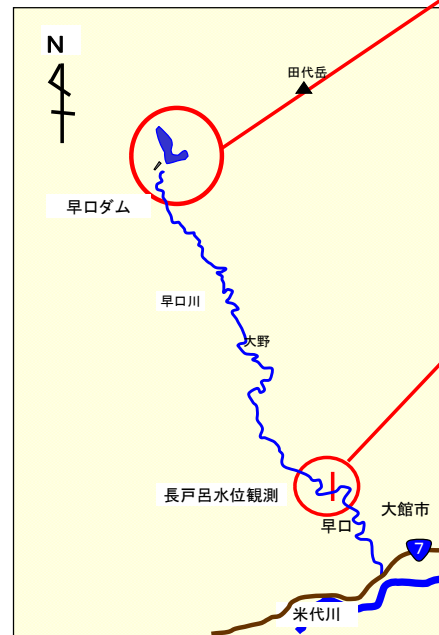
洪水時には、空容量を使って100流れてくる水をダムで60を貯めて、下流に40だけ流します。

ダムがない場合



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は40%になり、洪水被害を軽減します。



早口ダムでは、7月11日からの梅雨前線による出水のため洪水調節を行いました。約37千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の早口川に流れる水量を少なくしました。

早口ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

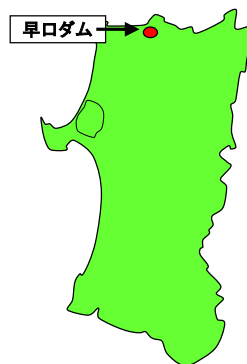
別紙

概況

早口ダムでは、7月11日からの梅雨前線による出水のため洪水調節を行いました。

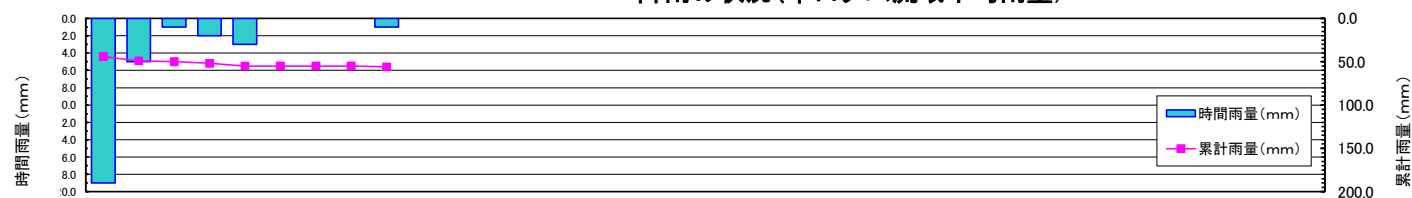
降雨の状況は、ダム流域平均雨量にて最大時間雨量24.7mm、累計雨量は70mmとなり、早口ダムにおける最大流入量は58.94m³/sまで上昇しました。洪水調節の結果、洪水調節量として58.94m³/s、約37千m³の水をダムに貯留し、早口川長戸呂水位観測局地点の河川水位を2.9cm下げることができました。

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。



早口ダム諸元	
河川名	米代川水系 早口川
形式	重力式コンクリートダム
堤高	61.0m
堤長	178.0m
堤体積	199.0千m ³
集水面積	48.5km ²
湛水面積	0.33km ²
有効貯水量	5,050千m ³
サーチャージ水位	EL.314.00m
竣工年度	昭和51年

降雨の状況(早口ダム流域平均雨量)



早口ダム 洪水調節状況

